

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成25年12月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

2013年を振り返って

大井 利夫

上都賀総合病院 名誉院長
日病・診療情報管理士教育委員会 特別委員
日本診療情報管理学会 理事長

巳年の平成25年は、夏の猛暑、秋の大型台風襲来と過酷な天候に振り回された年でした。診療情報管理士受講生の中にも、被災された方がおられるのではないかと心配しています。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

皆さんに直接関係する診療情報管理関係についても、様々な動きの見られた年でした。大海の月にあたり、その幾つかを振り返ってみましょう。

2月に行われた認定試験の結果1511名が合格し、新たに診療情報管理士の認証を授与されました。合格率は43.7%で、例年にも増して厳しい状況です。来年に向けて皆さんの頑張りを期待したいと思います。

9月に茨城県つくば市で開催された第39回日本診療情報管理学会学術大会では、学生セッションに29題の発表がありました。学生セッションは年ごとにレベルが向上し、診療情報管理の次の世代を担う皆さんに対する大きな期待を感じさせてくれます。

来年の第40回大会は、9月11日12日に、岩手県盛岡市にて佐々木崇学術大会長の下で行われます。大震災からの復興に努めている東北の地に多くの方々が集まって、素晴らしい学会が開催されますように。そしてその時には、現在の受講生の多くが、診療情報管理士の認証を得て参加してほしいと願っています。

その第40回大会のメインテーマは「グローバルな視点で診療情報管理のさらなる発展を目指す」です。佐々木大会長がこのテーマを選ばれたきっかけは、3年ごとに開催されるIFHIMA(診療情報管理協会国際連盟)の第18回国際大会が2016年10月に東京で開催されることが決定したことによるものでした。このIFHIMA国際大会が日本で開催されるのは初めてで、世界各国から診療情報管理に関わる人たちが参加します。盛大に、そして多大な成果を上げることができると、多くの皆さんの協力を希望しています。

診療情報管理をめぐる動きは、日本だけでなく、広く世界にて加速しています。10月に北京で開催されたWHO-FICネットワーク会議では、ICD-11への改訂が2017年に延期されましたが、同時にICF、ICHIについても力強い取り組みが披露され、さらにUHC(国民皆保険制度)への関与も大きな話題になりました。世界は、確実に前進しています。WHO-FICネットワーク会議に参加してそのことを強く感じました。

来年は午年です。皆さんも明日に向かって勢いよく疾走するように、そして、世界に明るい未来が開けますように。そして、みんなで叫ぼうではありませんか、ジェジェジェと。

